

信州大学医学部附属病院 脳神経外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

**「半側臥位による片側顔面痙攣の神経血管減圧術における
聴性脳幹反応の警告基準の検討」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究
内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	半側臥位による片側顔面痙攣の神経血管減圧術における 聴性脳幹反応の警告基準の検討
所属(診療科等)	脳神経外科
研究責任者(職名)	窪田雄樹(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2030 年 12 月 31 日
研究の意義、目的	片側顔面痙攣に対する神経血管減圧術では、まれに聴力低下が 起こることがあります。そのため、当院では手術中に聴性脳幹反応 (ABR)を測定し、聴神経への影響を確認しながら手術を行っています。 本研究では、過去に当院でこの手術を受けた患者さんの ABR デー タを調べ、手術中にどの時点の ABR 波形を基準にすれば、聴神経 への変化をより適切に判断できるかを検討します。 この研究は、今後の手術で聴力障害をできるだけ避けるための、よ り安全なモニタリング方法の確立に役立つことを目的としています。
対象となる方	2019 年 4 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までに、信州大学医学部 附属病院 脳神経外科で、片側顔面痙攣に対して神経血管減圧術 を受け、手術中に ABR モニタリングを行った方
利用する診療記録	診療録、手術記録、術中 ABR モニタリング記録、術後経過記録、年 齢、性別、手術日、手術側、手術方法、ABR 波形の変化、術後 1 か 月時点の聴力の状態
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し聴性脳幹反応のモニタリ ングについて検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	窪田雄樹(脳神経外科・助教) 電話：0263-37-2689

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。